

建築行政共用データベースシステム連絡協議会

平成26年度第3回企画改善部会・基準法システムWG 議事録（案）

日時：平成27年2月5日（木）10：30～11：35

場所：一般財団法人大阪建築防災センター 会議室

資料：【資料1】大阪府におけるデータ送受信環境整備状況

【資料2】指定確認検査機関と特定行政庁との通知・報告配信システム運用ルール(案)

出席：一般財団法人大阪建築防災センター建築確認検査機構

：深見機構長、中村企画審査部長、太田管理営業部長、足立さま

大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課

：津田課長補佐、日笠さま

大阪市都市計画局建築指導部建築確認課

：荒木課長代理

大阪市都市計画局建築指導部建築企画課

：吉村課長代理

事務局（ICBA） 久保、荘野（記）

議事：通知・報告配信システム実証実験の経過について

本運用への移行スケジュール

システム活用のための課題調整

資料：大阪府におけるデータ送受信環境整備状況、通知・報告配信システム運用ルール（案）

総括：データ本位型の運用にはできるだけ協力はしていきたいと考えるが、指定確認機関側の事務処理量の予測が簡単ではないので、少し検討する時間を設けることとする。

主な意見等

1. データ本位型に府内で参加する行政庁はどの程度か。（大阪建築防災センター）  
→まず、大阪府、大阪市、堺市、箕面市の4庁でスタートし徐々に広げていきたい。（大阪府）
2. 申請書の4・5面については、支所ではデータ入力しているが、本所では物件規模が大きいこともありデータ入力していない。そのため、報告時にはコピーを送付している。（大阪建築防災センター）
3. 今後のスケジュールはどのようになっているか。（大阪建築防災センター）  
→まず、データ本位型での運用にご協力いただけそうかについて、いくつかの指定機関を訪問する予定であり、それを踏まえて具体的なスケジュールを決めていく方針である。（大阪府）
4. 電子申請等の関連で、データ送信の障害となりそうな事前調査票のような様式については、今後の取扱いを前向きに検討して欲しい。（大阪建築防災センター）  
→すぐには約束できないが、将来的な課題として考えていく。（大阪府）
5. スキャンについてはコピーと作業が似ているので事務量に影響は少ないかもしれないが、スキャンデータのリネームの事務処理量が気になる。（大阪建築防災センター）

6. 府下特庁毎に様式が変わらないように統一をして欲しい。(大阪建築防災センター)
7. 現在も業務時間内は顧客対応等で手一杯のため、時間外に残業対応でデータの入力や書類作成等を行っているので、データ本位型の運用にあたりスキャンやリネーム、4・5 面の入力作業も残業となってしまう恐れがあるに手間取り作業効率上問題が残る。(大阪建築防災センター)

以上